



2022年5月13日

各 位

会 社 名 神姫バス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 長尾 真  
(コード：9083 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役経営企画部長 梅谷 榮一  
(TEL. 079-223-1247)

## 中期経営計画（2022年4月～2025年3月）の策定について

当社グループでは、将来環境の不確実性が高まる中、今後想定する事業環境の変化と経営課題を踏まえ、2030年のあるべき姿として「グループ構想2030」を描き、その最初の3年間である「中期経営計画（2022年4月～2025年3月）」を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 「グループ構想2030」の概要

**地域に不可欠、なくてはならない「まちづくり・地域づくり企業」へ進化する。**  
地域の移動を支え、暮らしを豊かにするとともに、地域の魅力を発掘・創出・発信し、地域価値を高める。

当社グループのコア事業である「バス事業」における地域との関わり、信頼関係、各種生活サービス事業の展開を強みにして、「まちづくり・地域づくり」を行っていくと同時に、事業の拡充を図ります。

#### 2. 「中期経営計画（2022年4月～2025年3月）」の概要

グループ構想2030に向け、コロナ禍前と同水準の利益規模への回復を目指すとともに、まちづくり・地域づくり企業へ転換するため、事業構造の改革を進めてまいります。

##### (1) 基本方針

『利益水準の回復と事業構造改革』

##### (2) 重点戦略

- ①神戸エリアでの路線拡充、観光周遊バスの充実をはじめとする事業拡大
- ②中山間地での地域に適した交通体系への転換と地域密着サービスの提供によるサステナブルな事業モデル確立
- ③不動産事業の拡大

- ④ノンコア、不採算事業はグループ内再編による効率化・収益力強化、または売却・撤退
- ⑤未来への成長投資の実行（人材、環境、デジタル分野）

(3) 主要セグメント別施策

■自動車運送

既存の路線バス収入はコロナ禍前の85%を想定し、路線再編、増収施策、コスト削減により、利益はコロナ禍前の水準に回復させ、安全性と収益性を両立した事業モデルを構築する。

- ・重点戦略エリア（神戸、大阪、淡路島）における事業拡大
- ・地域に適した持続可能な交通体系への転換
- ・安全、安心なサービスの提供

■不動産

安定収益としての物件取得と、総合不動産業としての事業の飛躍を図る。

- ・安定収益確保のため、投資枠として100億円設定
- ・総合不動産業（住宅、建設、管理、仲介）としての積極的な事業展開

■旅行・貸切

旅行の回復・反動需要の確実な取り込みに加え、地域の観光資源を開発、発掘し、多様化する観光ニーズに対応する。

- ・新しい旅のかたちへの取り組み
- ・高付加価値ツアー「真結」の磨き上げ
- ・インバウンド回復期を見据えた商品開発と販売チャネル拡大

3. 数値目標

	2021 年度実績	→	2024 年度計画
売上高	38,814 百万円		48,000 百万円
営業利益	300 百万円		2,400 百万円
経常利益	1,079 百万円		2,500 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,137 百万円		1,700 百万円
売上高経常利益率	2.8%		5.2%

4. 設備投資計画

計画3か年で約240億円

以上